

京都大学大学院文学研究科附属
文化遺産学・人文知連携センター シンポジウム

玄奘

が見たバーミヤーンと

京大隊

が見たバーミヤーン

2020年2月15日（土）

13時30分～17時30分

会場：京都大学文学部第1・2講義室
（京都市左京区吉田本町）

参加無料・申込不要
定員100名（先着順）

主催：京都大学大学院文学研究科附属 文化遺産学・人文知連携センター

共催：京都大学人社未来形発信ユニット

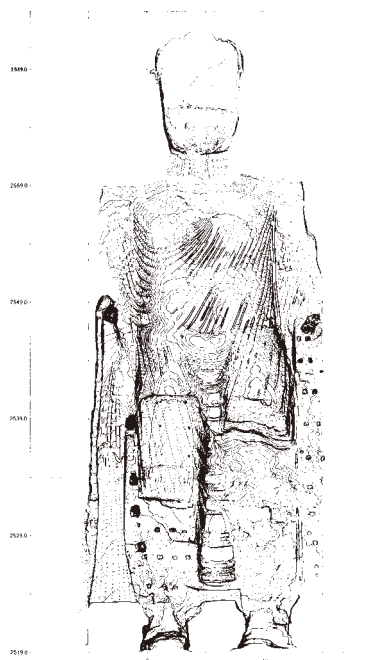


玄奘が見たバーミヤーンと京大隊が見たバーミヤーン

世界文化遺産に登録されたアフガニスタン・バーミヤーン渓谷の石窟寺院には、京大隊を含めてこれまで多くの人々が訪れてきました。こうして蓄積された記録・記憶を通して、バーミヤーンやアフガニスタンの遺跡について考えます。



京都大学調査時のバーミヤーン西大仏窟
(京都大学人文科学研究所所蔵)



バーミヤーン西大仏の立面図
(樋口隆康編 1984 『バーミヤーン』 第四巻より)



破壊後のバーミヤーン西大仏窟
(東京文化財研究所提供)

プログラム

趣旨説明

吉田 豊 (文学研究科教授／文化遺産学研究施設)

講演

「京大隊のアフガニスタン・パキスタン調査と残された写真資料」

内記 理 (文学研究科助教／文化遺産学研究施設)

「バーミヤーン大仏のイスラーム史」

稲葉 穂 (人文科学研究所教授)

「アフガニスタンの考古学とバーミヤーン」

桑山正進 (京都大学名誉教授)

「大仏破壊後のバーミヤーン —新たな調査と発見—」

岩井俊平 (龍谷大学龍谷ミュージアム准教授)



会場：京都大学文学部第1・2講義室

お問い合わせ：京都大学大学院文学研究科附属

文化遺産学・人文知連携センター

京大文化遺産調査活用部門

Tel：(075)753-7691